

## 金沢都市計画道路の変更（石川県決定）

都市計画道路中3・4・21号西金沢駅通り線および3・4・22号泉野々市線を次のように変更する。

種別	名称		位置			区域	構造				備考
	番号	路線名	起点	終点	主な経過地		延長	構造形式	車線の数	幅員	
幹線街路	3・4・21	西金沢駅通り線	金沢市西金沢1丁目	金沢市米泉町6丁目	金沢市米泉町7丁目	約390m	地表式	2車線	16m (16～20m)	幹線道路との平面交差 1箇所	駅前広場 3,200㎡
	3・4・22	泉野々市線	金沢市泉1丁目	野々市市二日市町	金沢市西泉4丁目 西泉5丁目 米泉町8丁目	約4,330m		2車線	20m (16～38.6m)		
		構造形式の内訳	金沢市米泉町6丁目	金沢市押野1丁目			約370m	嵩上式		34.6～38.6m	北陸鉄道石川線と立体交差
						約3,960m	地表式		16～17m	幹線街路との平面交差 7箇所	

## 理 由

金沢市の都市計画道路は、人口増加による市街地の拡大と経済成長に伴う自動車交通量の増加と進展を前提に計画されてきた。しかし、近年の社会情勢の変化、将来交通量の減少等を背景に、道路機能の集約や都市計画道路の見直しを行っている。

- 1) 3・4・21号西金沢駅通り線は、西金沢駅と3・4・22号泉野々市線を結ぶ全長約390mの補助幹線街路であり、昭和33年に都市計画決定されている。

本路線の周辺には、金沢伏見高校などの文教施設が立地しており、多くの自転車・歩行者の通行を見込んでいたが、少子化等の社会情勢の変化から周辺道路の調査を実施したところ、見込んでいた歩行者数の確認ができず、また、周辺道路は車道に自転車走行指導帯を整備し、歩行者と自転車の分離を行っており、本路線においても自転車ネットワークの連続性を確保ため、歩道幅員を5.5mから3.5mに変更し、あわせて道路幅員を20mから16mに変更する。

- 2) 3・4・22号泉野々市線は、金沢市泉1丁目の国道157号交差点から野々市市二日市町の国道8号を連結する全長4,330mの都市幹線街路であり、昭和5年に都市計画決定されている。

本路線の内、未整備区間である金沢市西泉4丁目から野々市市押野2丁目の1,150mは、4車線として計画していたが、社会情勢の変化に伴い、将来交通量が当初の想定より減少したため、車線数を4車線から2車線に変更し、あわせて道路幅員を20mから16mに変更する。

また、北陸鉄道石川線との立体交差構造については、掘割式の構造としていたが、スロープ部において横断箇所が限定され、地域コミュニティの分断が懸念されることから、影響の少ない嵩上式の構造に変更するものである。